i-Brain® sMos

スマートIoTサービス
活用による

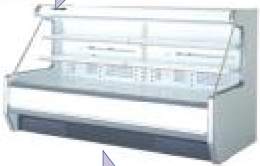
冷ケース等の温度遠隔監視

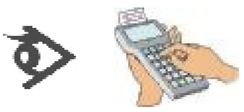
現状

一般的に冷蔵・冷凍庫の温度は、冷気の吹き出し口の温度がインジケータに表示されます。そのため冷蔵・冷凍庫内の食材の温度とは異なります。

1．冷蔵庫等の温度管理室(施設）の課題
　（１）パッキンの劣化
　（２）扉の解放に気付かない
　（３）冷蔵庫内の食材温度が不明

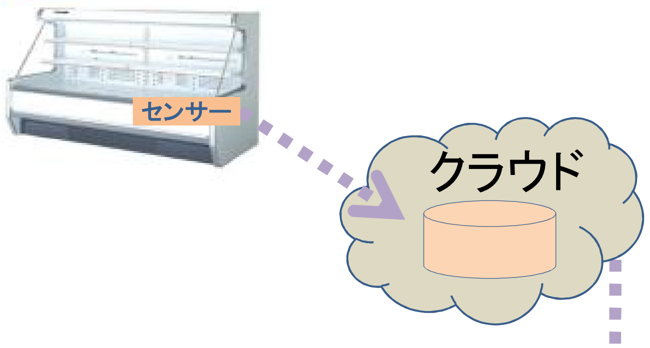
→ 食材品質劣化による**ロス大**





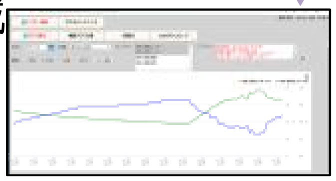
2．スタッフの負担
　（１）人手による1日数回手書き温度計測 → 担当者・管理者の**負担大**

課題解決



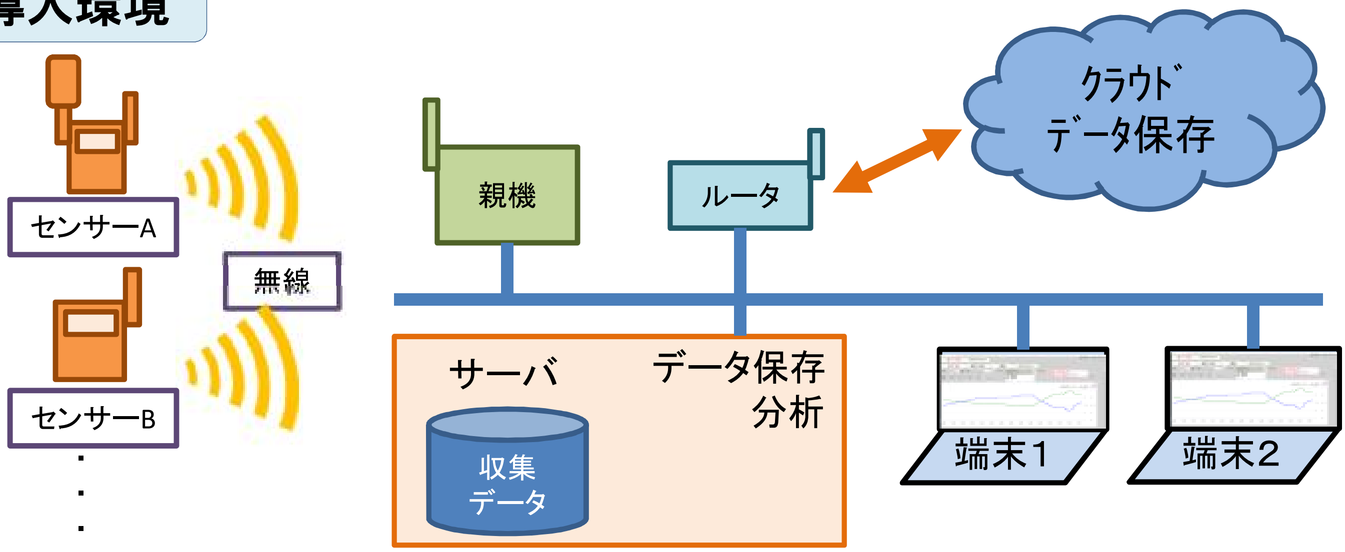
スマートIoTサービス活用

1．食材の安全
　（１）人的ミスによる食品事故を防止する事で、ブランド毀損リスク回避
　（２）ＨＡＣＣＰ等の運用に応じた温度記録表への直接連携が可能
　　（ガイドラインに準拠）
　（３）食材（原材料、加工済品含む）の廃棄ロスの低減
　　（適正な温度管理の結果として、廃棄ロスの低減化）



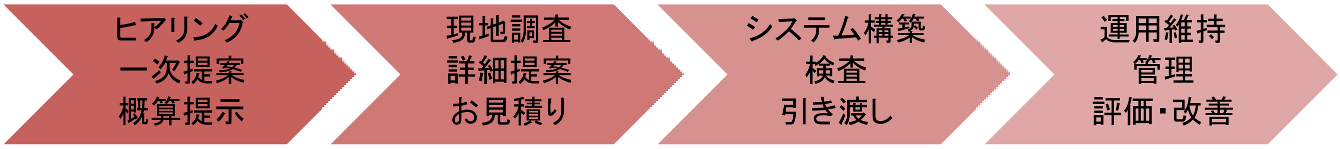
2．人手作業の負担軽減
　（１）自動で定期的（10分間隔）に温度計測・記録
　　により人手作業の負担軽減
　（２）人手では気が付かない温度異常を、自動で検知、
　　記録、通報

導入環境



■特長：
①：既設のクラウドを利用することで、**早期導入(1ケ月程度)可能**
②：収集データは見える化に加え、**異常時通報や、空調システムの制御に活用可能**
■機能
①：収集データのグラフ表示
　　表示期間：半日／日／週／月
　　データ収集間隔は標準で10分（設定変更可能）
　　複数のセンサー情報を同一グラフ上に表示可能
　　（センサー情報は5つまで表示可能）
　　閾値もグラフ内に表示可能（1センサー表示時のみ）
②：アラートの表示（グラフに画面に常時表示）
③：設定アラートに対してメール送信可能
④：日付設定でデータ抽出可能
⑤：データを表形式で表示可能

サービス導入・稼働までの流れ



費用項目

計測に必要な機器の販売及び測定データの管理、異常時の監視・通報サービスの提供
①センサー各種（温度以外にも数多くの種類あり）
②データ収集サーバ、PC、ネットワーク環境
③i-Brain（sMos)一式
④センサー等設定費用／工事費用
⑤通信費／保守費用

【お問い合わせ】
icomsoft
アイコムソフト株式会社
〒141-0022　品川区東五反田1－4－1
ハニー五反田第二ビル2階
03-6408-5720　iottokyo@icomsoft.co.jp
https://www.icomsoft.co.jp/